

奈良女子大学は、現在のそして未来の女性研究者を応援しています

国立大学法人 奈良女子大学

「生涯にわたる女性研究者共助システムの構築」

1908年 奈良女子高等師範学校として開校、1949年 奈良女子大学となる。現在、3学部と大学院を合わせた学生数2850名、附属学校園を含む教員数295名。2009年 創立100周年を迎える。



支援する者・支援される者の双方が寄与し成長する『共助システム』

小規模大学の特性を活かし、地域社会・学生・卒業生・教職員が連携して、以下のような活動を行っている。

- ①**女性研究者支援ネットワークの構築**：◆利用者のニーズに応じて、育児支援サポーターが一時預かりを中心とした支援を行う。平成20年度運用を目標に、専用のウェブシステムを開発し、育児支援サポーター養成講座を開催◆母性支援相談室・母性支援カウンセラーを設置し、育児・介護・女性の健康相談などに幅広く対応
- ②**教育研究支援員制度**：◆出産・育児・介護に関わる女性教員の研究活動を支援するために、博士後期課程修了者等を教育研究支援員として採用◆支援員にとってはキャリア形成・復帰支援につながる制度◆平成18年度は17名の女性教員のもとで34名の支援員が、平成19年度は18名の女性教員のもとで30名の支援員が活動
- ③**キャリア形成・維持・向上のための支援**：◆在校生・卒業生・教職員間の交流・情報交換のためのネットワークを構築中◆キャリア維持・向上のため、科学分野における内外の優れた登壇者による講演会を多数開催◆学術文化交流を進めるとともに、研究と育児の両立に努める女性研究者間の連携推進
- ④**次世代の研究者を育成するための事業の推進**：◆小中高女子生の科学分野への関心を高め、未来の女性研究者を育成するために、自治体等と連携して科学講座を多数開催◆優れた科学者を招き、子どもたちにサイエンスの素晴らしさを伝える試みも実施◆本学教員が中高校に出張して講演や実験を行う『サイエンス出前講座』を実施
- ⑤**男女共同参画実現への意識啓発活動**：◆国際シンポジウム、講演会を開催し、教職員・学生への啓発活動を実施◆諸外国の女性研究者の実状を学び、女性研究者支援の社会的意義や、男性・女性ともに仕事を続けていくことの意義や楽しさなどについて考え、解決しなければならない多くの問題を皆が認識する機会を提供



総括責任者名 学長 久米健次
実施責任者名 理学部教授 富崎松代
理学部教授 春本晃江
奈良女子大学女性研究者共助支援事業本部
〒630-8506 奈良市北魚屋西町 tel/fax:0742-20-3344
<http://shien.nara-wu.ac.jp/~wla/index.html>
shien@cc.nara-wu.ac.jp



生涯にわたる女性研究者共助システムの構築

奈良女子大学



女性研究者共助支援事業 5つの活動

1. 女性研究者支援ネットワークの構築
2. 教育研究支援員制度
3. キャリア形成・維持・向上のための支援
4. 次世代の研究者を育成するための事業の推進
5. 男女共同参画実現へ向けた意識啓発活動

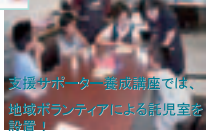


Web page リニューアルしました
<http://shien.nara-wu.ac.jp/wla/index.html>



1. 女性研究者支援ネットワーク

- 子育て支援ネットワーク
- 子育て支援サポーター養成講座
- 母性支援相談室・母性支援カウンセラー



支援サポーター養成講座では、地域ボランティアによる託児室を設け！

2. 教育研究支援員制度

育児・介護等に携わっている女性教員の教育・研究活動を支援するものとして、本学大学院博士後期課程修了者、大学院在学学生を採用。平成18年度に本制度を利用した女性教員は17名、その研究活動支援に従事した支援員は34名、平成19年度に利用する女性教員は18名、同支援員は29名。



内閣府・奈良県主催のこのイベントには51名の女子高校生が参加。奈良女の研究室訪問は好評であった。

4. 次世代の研究者育成

- 科学講座の開催
- サイエンス出前授業
- 優れた科学者との出会い

科学講座の様子

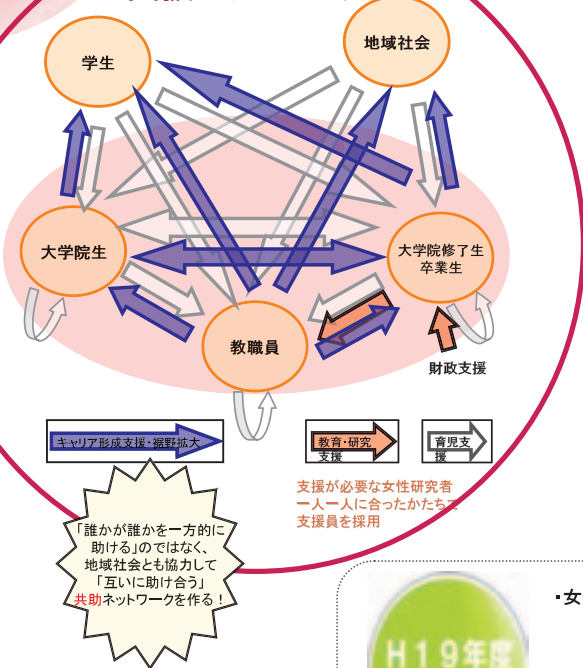


科学講座の様子



筑波大 柳澤純教授を講師に迎えての講演会11月2日～18日を科学週間とし、女性研究者共助支援事業本部主催で、科学講座(小学生、中学生、高校生、一般の人を対象)8件、講演会1件、科学者との交流会1件、事業紹介1件を実施。参加延べ人数は、500名以上！

支援ネットワーク

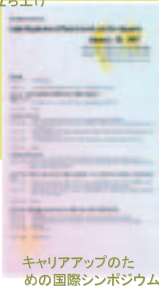


3. キャリア形成・維持・向上

- 女性研究者支援ネットワークの構築
- キャリアアップのための講演会



修了生ネットワークの立ち上げ



キャリアアップのための国際シンポジウム

5. 男女共同参画実現

- 国際シンポジウム、講演会の開催



教職員・学生を対象にした研修会



・女性研究者支援ネットワークの開発・運用の準備

- ・教育研究支援員制度
- ・科学講座の実施、科学週間
- ・講演会の開催

地域との連携・協力を更に強め、女性の生涯にわたるキャリアパス形成の取り組みを進める。